



安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	33-0079-5	版	6.00
発行日	2023/03/28	前発行日	2021/01/06

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称

3M[™] ガラスシーラーブラック ドライ 8511-D

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

シーラント

1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分2 B

皮膚腐食性/刺激性： 区分2

発がん性： 区分2

特定標的臓器毒性（単回ばく露）： 区分3

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分3

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

炎 感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H225	引火性の高い液体及び蒸気
H320	眼刺激
H315	皮膚刺激
H336	眠気又はめまいのおそれ
H351	発がんのおそれの疑い
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405 施錠して保管すること。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

製品の粘度により、誤えん有害性の区分は適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
炭酸カルシウム	471-34-1	30 - 60
石油樹脂	64742-16-1	7 - 13
スチレン・プタジエンポリマー	9003-55-8	1 - 5
フタレート化合物	営業秘密	1 - 5
水素化脱ろう溶剤抽出石油潤滑油 (C=24~50)	101316-72-7	0.5 - 2
メチルシクロヘキサン	108-87-2	< 1
カーボンブラック	1333-86-4	1.0
ヘプタン	142-82-5	14
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	14
ロジン	8050-09-7	0.10
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物（石油）	64741-96-4	1.7

4. 応急措置**応急措置****吸入した場合**

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

中枢神経の抑制（頭痛、目眩感、眠気、共調不能、吐き気、言語障害、目眩及び意識喪失）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。 ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 新鮮な空気ですその場所を換気する。 大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。 大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。 ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。 吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。 出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。 金属製の容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。 火花を発生させない工具を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。 眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱後はよく洗うこと。 環境への放出を避けること。 酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。 静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。 指定された個人保護具を使用する。 着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電気的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。 輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

保管

換気の良い場所で保管すること。 涼しいところに置くこと。 容器を密閉しておくこと。 熱から離して保管する。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション 3 に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
鉍物油、高精製油	101316-72-7	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 5 mg/m ³	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
鉍物油、高精製油	101316-72-7	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m ³	
メチルシクロヘキサン	108-87-2	ACGIH	TWA : 400ppm	
メチルシクロヘキサン	108-87-2	JSOH OELs	TWA (8時間) : 1600 mg/m ³ (400 ppm)	
カーボンブラック	1333-86-4	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 3mg/m ³	A3: 動物発がん性物質
カーボンブラック	1333-86-4	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m ³	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
不活性あるいは有害なダスト	1333-86-4	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m ³	100%と仮定して計算
煤	1333-86-4	JSOH OELs	限界値は未設定	1: ヒトに対して発がん性がある。
ヘプタン	142-82-5	ACGIH	TWA : 400ppm、STEL : 500ppm	
ヘプタン異性体	142-82-5	JSOH OELs	TWA (8時間) : 820 mg/m ³ (200 ppm)	
不活性あるいは有害なダスト	471-34-1	ISHL	TLV (計算値) (ダストとして) (8時間) : 0.025mg/m ³	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	471-34-1	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m ³	
石灰石	471-34-1	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m ³	
結晶質シリカ含有率 3% 未満の鉍物性粉塵	471-34-1	JSOH OELs	TWA (総粉じん) (8時間) : 4mg/m ³ ; TWA (吸入性粉じん) (8時間) : 1mg/m ³	

不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの、 吸入粒子	471-34-1	ACGIH	TWA (吸入粒子) :10 mg/m ³	
不溶性又は難溶性粒子状物質 で他に特段の指定がないもの、 吸入性粒子	471-34-1	ACGIH	TWA (吸入性粒子) :3 mg/m ³	
オイルミスト、ミネラル	64741-96-4	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時 間) :3 mg/m ³	
ロジン	8050-09-7	ACGIH	TWA(レジンとして, 吸入分 画):0.001mg/m ³	呼吸器/皮膚感受性
ロジン	8050-09-7	JSOH OELs	限界値は未設定	呼吸器感受性物質及び 皮膚感受性物質として 知られている。

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m³ : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

サイドシールド付安全メガネ

間接式換気ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。 注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	黒色
臭い	溶剤
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	99 °C
引火点	-4 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	1.1 %
燃焼点 (上限)	6.7 %
蒸気圧	4,670 Pa
蒸気密度/相対蒸気密度	3.6 [参照基準: 空気=1]
密度	データはない。
比重	1.27 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	356 g/l
揮発分	28 %
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。
火花ないし炎

混触危険物質

強酸
強酸化性物質

危険有害な分解物 物質

炭化水素類
一酸化炭素
二酸化炭素

条件

特段の規定はない。
特段の規定はない。
特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合

気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

皮膚に付着した場合

皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。

眼に入った場合

中程度の眼の刺激： 発赤、腫脹、痛み、流涙、眼のかすみなどの症状。

飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

その他健康影響情報

特定標的臓器毒性、単回ばく露

中枢神経機能の抑制： 頭痛、目眩感、眠気、協調障害、吐き気、反応時間遅延、言語障害、目眩及び意識喪失などの症状。

発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
炭酸カルシウム	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
炭酸カルシウム	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 3 mg/l
炭酸カルシウム	経口摂取	ラット	LD50 6,450 mg/kg
ヘプタン	皮膚	ウサギ	LD50 3,000 mg/kg
ヘプタン	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 103 mg/l
ヘプタン	経口摂取	ラット	LD50 > 15,000 mg/kg
水素化重質石油ナフサ	吸入－蒸気		LC50 推定値 20 - 50 mg/l
水素化重質石油ナフサ	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
水素化重質石油ナフサ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
石油樹脂	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
石油樹脂	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
スチレン・ブタジエンポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
スチレン・ブタジエンポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
フタレート化合物	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
フタレート化合物	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 1.7 mg/l
フタレート化合物	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物 (石油)	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物 (石油)	吸入－粉塵 /ミスト (4 週)	ラット	LC50 > 5.53
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物 (石油)	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
カーボンブラック	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
カーボンブラック	経口摂取	ラット	LD50 > 8,000 mg/kg
メチルシクロヘキサン	吸入－蒸気 (4 時間)	マウス	LC50 26 mg/l
メチルシクロヘキサン	皮膚	ウサギ	LD50 > 86,700 mg/kg
メチルシクロヘキサン	経口摂取	ラット	LD50 > 3,200 mg/kg
ロジン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,500 mg/kg
ロジン	経口摂取	ラット	LD50 7,600 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
炭酸カルシウム	ウサギ	刺激性なし
ヘプタン	ヒト	軽度の刺激
水素化重質石油ナフサ	ウサギ	刺激物
石油樹脂	ヒト	わずかな刺激
スチレン・ブタジエンポリマー	専門家に	刺激性なし

	よる判断	
フタレート化合物	ウサギ	刺激性なし
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物（石油）	ウサギ	わずかな刺激
カーボンブラック	ウサギ	刺激性なし
メチルシクロヘキサン	ウサギ	わずかな刺激
ロジン	ウサギ	刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
炭酸カルシウム	ウサギ	刺激性なし
ヘプタン	専門家による判断	中程度の刺激
水素化重質石油ナフサ	ウサギ	刺激性なし
石油樹脂	ヒト	軽度の刺激
フタレート化合物	ウサギ	軽度の刺激
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物（石油）	ウサギ	刺激性なし
カーボンブラック	ウサギ	刺激性なし
メチルシクロヘキサン	ウサギ	軽度の刺激
ロジン	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	モルモット	区分に該当しない。
フタレート化合物	ヒト及び動物	区分に該当しない。
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物（石油）	モルモット	区分に該当しない。
ロジン	モルモット	感作性あり

光感作性

名称	生物種	値又は判定結果
石油樹脂	ヒト	感作性なし

呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
ロジン	ヒト	区分に該当しない。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
ヘプタン	In vitro	変異原性なし
水素化重質石油ナフサ	In vivo	変異原性なし
水素化重質石油ナフサ	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
石油樹脂	In vivo	変異原性なし
石油樹脂	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
フタレート化合物	In vitro	変異原性なし

溶剤精製重質ナフテン系蒸留物（石油）	In vivo	変異原性なし
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物（石油）	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
カーボンブラック	In vitro	変異原性なし
カーボンブラック	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。
石油樹脂	特段の規定はない。	ヒト及び動物	陽性データはあるが、分類には不十分。
フタレート化合物	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物（石油）	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
カーボンブラック	皮膚	マウス	発がん性なし
カーボンブラック	経口摂取	マウス	発がん性なし
カーボンブラック	吸入した場合	ラット	発がん性
メチルシクロヘキサン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 625 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2.4 mg/l	器官発生期
フタレート化合物	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2 世代
フタレート化合物	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2 世代
フタレート化合物	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.812 mg/l	90 分
ヘプタン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
ヘプタン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	
ヘプタン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 6.5	4 時間

	場合				mg/l	
水素化重質石油ナフサ	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
メチルシクロヘキサン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
メチルシクロヘキサン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メチルシクロヘキサン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
炭酸カルシウム	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ヘプタン	吸入した場合	肝臓 神経系 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 12 mg/l	26 週
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	神経系	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 4.6 mg/l	6 月
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 1.9 mg/l	13 週
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 0.6 mg/l	90 日
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	骨、歯、爪及び/ 又は毛髪 血液 肝臓 筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5.6 mg/l	12 週
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	心臓	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 1.3 mg/l	90 日
石油樹脂	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
フタレート化合物	皮膚	血液 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 2,425 mg/kg/day	6 週
フタレート化合物	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	13 週
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物 (石油)	皮膚	皮膚 造血器系 肝臓 腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 5,000 mg/kg/day	3 週
カーボンブラック	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メチルシクロヘキサン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.6 mg/l	12 月
メチルシクロヘキサン	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 12 mg/l	10 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
ヘプタン	誤えん有害性
水素化重質石油ナフサ	誤えん有害性
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物 (石油)	誤えん有害性
メチルシクロヘキサン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
炭酸カルシウム	471-34-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
炭酸カルシウム	471-34-1	緑藻類	実験	72 時間	EC10	100 mg/l
石油樹脂	64742-16-1	緑藻類	エンドポイントに達しない。	72 時間	EL50	>100 mg/l
石油樹脂	64742-16-1	ミジンコ	実験	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
フタレート化合物	営業秘密	液状化	推定値	30 分	EC50	>83.9 mg/l
フタレート化合物	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
フタレート化合物	営業秘密	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
フタレート化合物	営業秘密	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
フタレート化合物	営業秘密	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	100 mg/l
フタレート化合物	営業秘密	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	100 mg/l
スチレン・ブタジエンポリ	9003-55-8	該当なし	分類にデータが利用できない	該当なし	該当なし	該当なし

マー			い、あるいは不足している。			
水素化脱ろう 溶剤抽出石油 潤滑油 (C=24~50)	101316-72-7	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし
メチルシクロ ヘキサン	108-87-2	該当なし	実験	96 時間	LC50	3.3 mg/l
メチルシクロ ヘキサン	108-87-2	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.134 mg/l
メチルシクロ ヘキサン	108-87-2	メダカ	実験	96 時間	LC50	2.07 mg/l
メチルシクロ ヘキサン	108-87-2	ストライプド バス	実験	96 時間	LC50	5.8 mg/l
メチルシクロ ヘキサン	108-87-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.326 mg/l
メチルシクロ ヘキサン	108-87-2	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.022 mg/l
カーボンブラ ック	1333-86-4	液状化	実験	3 時間	EC50	>=100 mg/l
カーボンブラ ック	1333-86-4	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし
ヘプタン	142-82-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.5 mg/l
ヘプタン	142-82-5	ミジンコ	推定値	21 日	NOEC	0.17 mg/l
水素化重質石 油ナフサ	64742-48-9	ファットヘッ ドミノウ (魚)	推定値	96 時間	LL50	8.2 mg/l
水素化重質石 油ナフサ	64742-48-9	緑藻類	推定値	72 時間	EL50	3.1 mg/l
水素化重質石 油ナフサ	64742-48-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	4.5 mg/l
水素化重質石 油ナフサ	64742-48-9	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	0.5 mg/l
水素化重質石 油ナフサ	64742-48-9	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	2.6 mg/l
ロジン	8050-09-7	バクテリア	実験	該当なし	EC50	76.1 mg/l
ロジン	8050-09-7	緑藻類	実験	72 時間	EL50	>100 mg/l
ロジン	8050-09-7	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	911 mg/l
ロジン	8050-09-7	ゼブラフィッ シュ	実験	96 時間	LL50	>1 mg/l
ロジン	8050-09-7	緑藻類	実験	72 時間	NOEL	100 mg/l
溶剤精製重質 ナフテン系蒸	64741-96-4	ファットヘッ ドミノウ	類似コンパウ ンド	96 時間	水への溶解限 界において毒	>100 mg/l

留物 (石油)		(魚)			性は見られない	
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物 (石油)	64741-96-4	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物 (石油)	64741-96-4	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	NOEL	100 mg/l
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物 (石油)	64741-96-4	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEL	10 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
炭酸カルシウム	471-34-1	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石油樹脂	64742-16-1	推定値 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	18 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
フタレート化合物	営業秘密	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	81 CO2発生量/理論CO2発生量%	
スチレン・ブタジエンポリマー	9003-55-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化脱ろう溶剤抽出石油潤滑油 (C=24~50)	101316-72-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メチルシクロヘキサン	108-87-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
メチルシクロヘキサン	108-87-2	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	3.0 日 (t 1/2)	
カーボンブラック	1333-86-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ヘプタン	142-82-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	101 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
ヘプタン	142-82-5	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	4.24 日 (t 1/2)	
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	10 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
ロジン	8050-09-7	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	64 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物 (石油)	64741-96-4	類似コンパウンド 生分解	28 日	二酸化炭素の発生	2-4 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素

留物 (石油)		性			生量%	酸化炭素
---------	--	---	--	--	-----	------

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
炭酸カルシウム	471-34-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石油樹脂	64742-16-1	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フタレート化合物	営業秘密	類似コンパウンド BCF - 魚	14 日	生物濃縮係数	<3	
スチレン・ブタジエンポリマー	9003-55-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化脱ろう溶剤抽出石油潤滑油 (C=24~50)	101316-72-7	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メチルシクロヘキサン	108-87-2	実験 BCF - 魚	56 日	生物濃縮係数	<=321	OECD305-生体濃縮度試験
メチルシクロヘキサン	108-87-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.88	
カーボンブラック	1333-86-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ヘプタン	142-82-5	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	105	
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ロジン	8050-09-7	類似コンパウンド BCF - 魚	20 日	生物濃縮係数	129	
溶剤精製重質	64741-96-4	分類にデー	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

ナフテン系蒸留物（石油）		タが利用できない、あるいは不足している。				
--------------	--	----------------------	--	--	--	--

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1993 その他の引火性液体

輸送分類（IMO）：3 引火性液体

輸送分類（IATA）：3 引火性液体

容器等級：II

国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令**国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査（リスクアセスメント）すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

労働安全衛生法：施行令別表第 6 の 2 有機溶剤

消防法：第四類第一石油類

船舶安全法、航空法：引火性液体類

化管法：第 1 種指定化学物質

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
カーボンブラック	カーボンブラック	該当	該当
ヘプタン	ヘプタン	該当	該当

ヘプタン	n-ヘプタン	該当	該当
水素化重質石油ナフサ	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当
ロジン	ロジン	該当	該当
溶剤精製重質ナフテン系蒸留物（石油）	鉱油	該当	該当

化管法

成分	政令名称	管理番号	分類（2023年3月31日まで）	分類（2023年4月1日以降）
ヘプタン	ヘプタン	731	該当なし	第1種指定化学物質

16. その他の情報

改訂情報

- セクション1：製品用途 情報の追加.
- セクション2：環境影響ステートメント 情報修正.
- セクション2：GHS分類 情報修正.
- セクション2：健康有害性 情報修正.
- セクション2：物理化学的危険性のステートメント 情報修正.
- セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正.
- セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.
- セクション2：注意書き - 保管 情報修正.
- セクション2：ラベル要素の追加GHS情報 情報の追加.
- セクション3：成分表 情報修正.
- 項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加.
- セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
- セクション6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
- セクション7：貯蔵情報 情報修正.
- セクション7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション8：眼および顔面保護 情報修正.
- セクション8：mg/m3 記号 情報の追加.
- セクション8：作業環境許容値 情報修正.
- セクション8：保護具 - 眼 情報修正.
- セクション8：保護具 - 吸入 情報修正.
- セクション8：保護具 - 皮膚/手 情報修正.
- セクション8：ppm 記号 情報の追加.
- セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.
- セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正.
- セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正.
- セクション9：引火点情報 情報修正.
- セクション9：pH情報 情報修正.
- セクション11：急性毒性の表 情報修正.
- セクション11：吸引毒性の表 情報修正.
- セクション11：発がん性の表 情報修正.
- セクション11：生殖胞変異原性の表 情報修正.

- セクション 1.1 : 健康影響情報 (飲み込んだ場合) 情報修正.
- セクション 1.1 : 生殖毒性の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 呼吸器感作性の表 情報の追加.
- セクション 1.1 : 呼吸感作性 情報の削除.
- セクション 1.1 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション 1.1 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
- セクション 1.2 : 水生生物への急性毒性情報 情報の追加.
- セクション 1.2 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
- セクション 1.2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 1.2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 1.2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 1.5 : 労働安全衛生法の表 情報の追加.
- セクション 1.5 : 法規名 - 表 情報の削除.
- セクション 1.5 : 化管法の表 情報の追加.
- セクション 1.5 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート (SDS) の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

(法令で要求される場合を除く) 本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。